

声をあげよう！ 仲間を広げよう！ 人間らしく働く権利の確立をめざして！

パート・非常勤部会ニュース No. 5

大阪市北区錦町2-2 国労会館1F 大阪労連パート・非常勤部会 2008・3・24

人間らしく働きたい

北河内 第1回 非正規交流会を開催

3月20日(木) 午前11時から枚方市民会館において非正規交流会が開催されました。

福祉保育労、建交労、JMIU、枚方市職労、北河内パート・臨職部会、新婦人など20代の青年を含む非正規労働者27名が出席し、学習をした後、軽食を食べながら交流を行いました

以下、交流会開催に向けて頑張った福祉保育労の近藤真紀さんからの報告です。



第1部は、全労連パート・臨時労組連絡会事務局長の井筒百子さんを講師に迎えて「非正規労働者の現状と課題」というテーマで講演をしていただき、第2部ではグループに分かれて交流会を行いました。交流会では積極的に自分たちの現状を出し合い、当初予定時間を30分以上延長しての交流会となりました。その中で「自分だけではない」「みんなおかしいと思っている」「何とかしたいと思っている」という思いを共有でき、早くも「次回は・・・」の声もあり、この非正規の問題が社会全体としての緊急課題であることを改めて感じさせられました。立場・職場・職種の枠を超えて一人一人が手を取り合って立ち上がることが必要だと強く感じた交流会でした。

全労連「非正規雇用労働者全国センター」(準備会)発足

3月19日(水)の午後5時から、全労連会館において、「非正規雇用労働者全国センター」(準備会)の発足集会が開催され、40団体、8地域、96名が参加しました。センターの正式発足は7月の全労連大会の予定です。大阪からは自治労連関連評の上垣さんと大阪労連の長岡が出席しました。上垣さんはリレートーク(4人)で自治体非常勤の実態を報告しました。



全労連の坂内議長は「9年連続で賃金は下がり続け、年収200万円以下が1023万人、格差の拡大と絶対的貧困が深まる中で、正規中心から非正規を含むすべての労働者に軸足を移した労働運動が求められている。連合と競い合うことが目的ではなく、一致する要求で共に運動をすすめていく。運動、組織化で走りながらの発足となる。正規の働き方を含め、運動の転換をめざしたい」と挨拶。

4人のリレートーク

パート労働者(大阪 上垣さん)

官製ワーキングプアが注目をあびている。大阪でも大阪市と大阪府を除くと非正規が約32%、保育所では半分が非正規の所も。同じ仕事をして正規より長く働いていても昇給はなく、年収は約3分の1。20年間働いても臨時、毎日働くのに非常勤。ある時は公務員、ある時は非常勤、名前の偽装「偽装公務員」と言いたい。実態を見ずにパート、非常勤というレッテルを貼って、低い労働条件に押し込めている。

アルバイト(新宿一般の青年)

病院の夜間当直を15時間半労働、12000円で働き始めた。原則一人で休憩なし。労働時間で割ると時給695円で最低賃金違反(労組加入で是正) 救急隊からの要請を一人で受けていた。原則私が判断。マニュアルに生活保護、精神疾患は断ると書いてあった。数年前、映画の仕事を手伝っていた。スカベンチャーというゴミ捨場で廃材拾いをする人たち、フィリピンのスラム街を取っていたが、グッドウィルなど日雇い派遣はフィリピンのスラム街の労働者と一緒。

ヘルパー(東京ヘルパーネット)

6割以上が非正規。ヘルパーは1400円、1600円募集で高いと思われるかもしれないが、訪問時間しか賃金もらえない。介護に2時間かかっても訪問時間が1時間なら1時間分しかもらえない。介護報酬が低いことが問題。利用者が入院すれば減収。男性ヘルパーは、結婚したらやっていると寿退社。直行直帰なので組織化がむずかしい。

外国人労働者(JMIU 静岡西部地域支部)

浜松に32000人働いている。自動車関連の仕事。3ヶ月の派遣。死亡事故含む労災事故発生。個人で有休取ると首になる。24人で組合結成し、要求提出。3回団交。ポルトガル語での就業規則の周知、有休取得、作業服会社負担など成果をあげている。08春闘で時給1000円要求提出。社会保険未加入(ブラジルと年金協定進めてほしい) アパートにビラをまいて仲間作りをしている。日本の派遣も組合加入をして欲しい。

激励のことば

3月19日 — さあ いくぞ — 牧野富夫さん(労働運動総合研究所)

同じ仕事で年収は2分の1、3分の1という大きな格差の本質は差別。「あなたは非正規」というレッテルを貼って差別している。差別のチェックの洗い出しをとことんやっていく必要がある。

青年の健康調査 田村明彦さん(働くもののいのちと健康を守る全国センター副理事長)

非正規労働者は対象がつかみにくく、単一の労働でないため健康問題が取り上げられてこなかったが、長時間、無権利、労災、解雇などひどい実態があり、青年の全国での健康調査を行う。

ワーキングプアを運動の柱の一つにする方針を確立した 松井繁明さん(自由法曹団長)

日雇い派遣はトラックの荷台に乗せて連れて行っているが、荷台に人を乗せてはいけない。若い弁護士はワーキングプアの問題に熱心に取り組んでくれる。友達が非正規で働いており、良く知っているから。ワーキングプアを運動の柱の一つに据えた。貢献をしたい。



「非正規センター」の今後の活動

- 非正規雇用労働者の雇用や労働条件、生活に係わる要求の実現と組織化を全労連運動全体の課題にしていく。
- パート・臨時連絡会、ヘルパーネットワーク、派遣請負労働者連絡会、外国人労働者連絡会の活動を大きくたばねて、当該労働者の闘いをサポートする。
- 非正規雇用労働者の実利・実益

に役立つ情報をはじめ非正規雇用労働者問題についての幅広い情報提供を行うとともに、「シンクタンク」的役割を担って「実態調査」や政策提言活動に取り組む。

- 非正規雇用労働者の相互交流、相互扶助、連帯活動を具体化する。

「官製ワーキングプア」をめぐって参議院予算委員会で質疑

「非常勤職員を差別するな」と国の責任を追及

3月19日の参議院予算委員会において、「官製ワーキングプア」として問題になっている公務職場の臨時・非常勤職員問題が取り上げられました。

質問に立った日本共産党の山下芳生参議院議員は、地方自治体の一般事務や保育の職場で働く臨時・非常勤職員の実態を具体的に示し、政府を追及しました。

同じ職場で同じ仕事をしながら、賃金や休暇制度で差別を受けている非常勤職員に対し、増田総務大臣は「同じように働く人に違いがあってはならない。実態を直視して検討していく必要がある」と答弁しました。……
(全労連「公務労組連絡会 FAX ニュース」より)

08春闘 パートなど回答状況

3月13日付の全労連の「国民春闘共闘ニュース」によると、パート労働者の労働力不足と地域別最賃の引き上げを反映して、最高350円などのパート回答が引き出されており、平均は38.0円（前年同期は24.5円）となっています。

大阪では3月18日現在、全国一般が2組合、生協労連は8組合、JMIUが3組合の回答を引き出しています。生協労連のよどがわ市民生協ではパート回答としてベースアップ17円、定昇5円と合わせて22円を引き出しています。要求額は300円です。現在のパート最低時間給が733円なので、今回の回答で最低時間給が750円となります。よどがわ市民生協労組の執行部は、パートの時間給底上げや準職員の時給改善(40円のベア)・一時金制度の新設など前進点を評価しつつも、正規のベースアップが示されなかったことなど要求からかけ離れた回答であるとして、再度、分会で評価すべき点、再要求すべき項目を整理することを確認し、3月31日に団体交渉を申し入れています。